

令和6年度 対人援助コミュニケーション力向上研修

～ 対人場面でのコミュニケーション・スキルの向上を目指そう ～



◆ 研修目的 普段の対人援助の場面で、どのような関わりをされていますか？
コミュニケーション力は福祉専門職にとってたいへん重要なスキルですが、毎日の業務の中ではコミュニケーションについて悩む場面も数々あることと思います。
本研修は頭と心と身体を使ってコミュニケーションの楽しさと大切さを学びながら、対人場面で役立つコミュニケーション・スキルを習得していただくことをねらいとして開催します。現場業務や地域福祉活動における情報共有や対応等についても、一緒に考えていきましょう！

◆ 主催 社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会

◆ 日程 令和6年10月28日(月) } 両日とも 9:30～16:30 計2日間
12月6日(金) }



◆ 会場 奈良県社会福祉総合センター 5階 研修室C
橿原市大久保町320-11
(近鉄畷傍御陵前駅より北東へ徒歩約3分)



◆ 対象者 対人援助業務の経験を概ね3年以上有する、
県内社会福祉施設・事業所等の職員
(実務経験年数3年以上の方や本会主催のキャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース修了者相当)

◆ 受講料 6,000円/人 ※後日受講決定者に送付する払込書にてお支払いください。
※本来は10,000円の設定ですが、奈良県介護人材確保総合支援補助金を活用し、
6,000円に減額します。
※受講料払込後に受講者側の理由によるキャンセルが生じた場合、返金はいたしかねます。

◆ 定員 30名 (先着順。ただし、申込多数の場合、多くの職場から受講していただくため、優先順位2位以下の方の受講をお断りすることがあります。)

◆ 申込方法 奈良県社会福祉協議会のホームページからお申し込みください。  
(<https://nara-shakyo.jp/pages/306/>)
郵送でもお申し込みいただけます(申込書の様式は本会HPよりダウンロード可能)

◆ 申込期限 令和6年9月13日(金) 必着 <先着順>
※申込締切後、受講決定通知をお送りします。9月30日(月)を過ぎても通知が届かない場合は下記へご連絡ください。

◆ 問い合わせ ㊦634-0061 橿原市大久保町320-11
照会先 社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会 福祉人材センター【担当：吉村】
TEL: 0744-29-0130 または 0744-26-0225
メール: kenshu@nara-shakyo.jp URL: <https://nara-shakyo.jp/>

<留意事項>

※自然災害など、不測の事態により研修を中止、延期する場合は、研修当日、研修開始時刻の約2時間前に、奈良県社会福祉協議会ホームページに掲載いたします。こちらからご連絡いたしませんので、ご了承ください。

講師プロフィール

新崎 国広 氏 「ふくしと教育の実践研究所 SOLA」主宰
大阪教育大学・関西大学・桃山学院大学等非常勤講師

<経歴>

- ・ 桃山学院大学社会福祉学科卒業。大阪教育大学院教育研究科修士課程修了。社会福祉士。
- ・ 肢体不自由児施設にてソーシャルワーカー兼ボランティアコーディネーターに従事し、中部学院大学社会福祉学部准教授等を経て現職に至る。専門分野は福祉教育・ソーシャルワーク・地域福祉・ボランティアコーディネーション。
- ・ 福祉現場の経験を活かし、各地でキャリアパス対応生涯研修をはじめとする、福祉従事者研修の講師活動を展開。

◆研修カリキュラム概要 実践課題方式を採用した、福祉現場直結型研修です！

※講義内容は若干変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

1 日目	10/28(月) 9:30~16:30	講義/ 演習	対人援助職に求められるコミュニケーション・スキルを学ぼう！ <ul style="list-style-type: none">・ 対人援助における専門性の三要素・ 信頼形成プロセスにおけるコミュニケーションの重要性・ スーパービジョンの役割と意義・ 対人援助に必要なリーダーシップとは
---------	------------------------	-----------	---

※1日目終了後に実践課題をお渡しします。

実践期間 10/29(火) ~ 12/5(木)

実践現場への応用（1日目に学んだことを各職場で実践し、意識し、確認しよう！）

2 日目	12/6(金) 9:30~16:30	講義/ 演習	実践期間で得た「気づき」を確認・検証しよう！ <ul style="list-style-type: none">・ グループワークを通して、課題について検討しよう。・ 実践現場で活かしていくためのポイントとは？・ 日常業務を見直し、よりよい対人援助のスキルを身につけるためには？
---------	-----------------------	-----------	---

【 前年度受講者の声 】



グループワークで一緒になった方たちに対して、自分の言葉で表現し伝えることができた。先生の話も分かりやすく楽しかった。(高齢者関係・管理者)

どのような分野でも必要なコミュニケーションの基礎を学ぶことができた。様々な職種の意見を聞くことができて良かった。(児童関連施設・支援員)



重度障害をお持ちの方への関わりで、自分が行ってきたことが間違っていなかったと感じることができ、気持ちが楽になった。(障害者関係・保育士)

【「研修実施基本方針」「研修受講ルール」をご確認ください】

奈良県福祉人材センターでは、少しでも安心してご受講いただけるよう「研修実施基本方針」「研修受講ルール」を定めて運営しています。

受講のお申し込みをいただいた時点で、「研修実施基本方針」「研修ルール」にご同意いただいたものとさせていただきますので、当センターのホームページまたは右の二次元コードより必ずご確認ください。

【研修実施基本方針】

【研修受講ルール】



【研修における感染症拡大防止対策】

当センターでは国の方針に基づき、感染症拡大防止の取り組みを実施いたしますので、ご理解・ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

詳細は当センターホームページまたは右の二次元コードよりご確認ください。

【感染防止対策】



令和6年度 対人援助コミュニケーション力向上研修
受 講 申 込 書

(社福)奈良県社会福祉協議会 事務局長 宛

下記のとおり標記研修の受講を申込みます。

「研修実施基本方針」・「研修受講ルール」を
確認し、これに同意します。

←チェックを入れてください



法人名

所属名

役 職
氏 名

受講希望者 氏 名	(フリガナ)	生年月日	S・H 年 月 日生	同一所属内での 優先順位(※)	番 目 人 中
		性 別	男 ・ 女		
勤務先名称		機関(施設等)の種別 (該当するものに○をつけてください)			
勤 務 先 所 在 地	〒 -	＜高齢者関連＞ A. 養護老人ホーム B. 特別養護老人ホーム C. 軽費老人ホーム D. 有料老人ホーム E. 介護老人保健施設 F. デイサービスセンター G. 地域包括支援センター H. 認知症高齢者グループホーム I. 小規模多機能型居宅介護 J. 訪問介護事業所 K. 居宅介護支援事業所 L. その他の高齢者関連施設			
	TEL: () FAX: () 連絡ご担当者: _____ ・ 本人 ※担当が決まっていない場合は、「本人」に○印をつけてください。	＜障害者(児)関連＞ M. 障害者支援施設 N. 日中活動に関する事業を実施する事業所 O. グループホーム P. その他の障害者関連施設 Q. 障害児関連施設			
現在の職種	介護職 ・ 相談職 ・ 支援員 ・ 管理職 その他()	現 職 場 での 経 験		年 月	
		福 祉 職 経 験 (通 算)		年 月	
保有資格 (該当するものに○印 をつけてください)	ア. 介護福祉士 イ. 社会福祉士 ウ. 精神保健福祉士 エ. 社会福祉主事任用資格 オ. 介護職員初任者研修修了(旧訪問介護員養成研修1級～3級及び旧介護職員基礎研修を含む) カ. 介護職員実務者研修修了 キ. 介護支援専門員 ク. 保育士 ケ. 看護師 ・ 准看護師 コ. その他() サ. 保有資格なし				
担当業務 内 容	※簡潔にご記入ください。				
学びたい事	※本研修で学びたい事、日々の仕事に反映したいと考えておられることについて、受講申込者本人がご記入ください。				

※同一所属内で複数の受講希望者がいる場合は、本申込書を複写してお申込みください。
その場合、所属内での優先順位を記入してください。(例:2人中1番目)

【個人情報の取り扱い】

受講申込書に記載いただいた個人情報は、当該研修に関する通知等の送付及び研修実施に関する連絡以外には一切、使用いたしません。

【 郵 送 】

〒634-0061
橿原市大久保町 320 番地 11
奈良県社会福祉総合センター3階
社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会 福祉人材センター 行

ホームページからも
お申し込みいただけます
(<https://nara-shakyo.jp/pages/306/>)



【申込期限:9月13日(金)】